

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【アドバンス・ディレクティブ】

英 Advance Directive(s), Advanced Directive(s)

和 アドバンス・ディレクティブ

【用語解説】

Advance Directive (Advancedの表記もあり) (以下ADとする) とはAdvance前もってのDirective指示, つまり, 十分な意思決定能力のある段階での自分の医療処置やケアの内容に関する指示のことである。「ある患者あるいは健常人が, 将来自らが判断能力を失った際に自分に行われる医療行為に対する意向を前もって意思表示すること」¹⁾ と定義される。指示をするのは患者さん, 将来患者になる可能性のある人自身である。最近ではアドバンスケアプランニング (ACP) という言葉をよくみかけるが, ACPは具体的指示にたどり着くまでのプロセス全体をさし, アドバンス・ディレクティブは指示そのもののことである。

ADにはDNARの表明, ドナーカードなどの書式, さらに決定権を特定の人に委ねる代理人指示も含まれる。たとえば, DNARはDo Not Attempt Resuscitation, 蘇生の可能性の低いときに無理に蘇生措置をしないでくださいという本人からの指示である。(最近, 医療の現場でみかける医師が患者から「DNARを取る」という表現は不適切であるといえる) ドナーカード (臓器提供医師表示カード) は臓器提供についての意思を表示するもので, 日本臓器移植ネットワークが発行しているカードだけでなく, 同様の内容が医療保険証などに付随されている場合もある。形式としては文書の形が妥当であろうが, 海外では, タトゥーにDNARと入れている例などもあるようである。いずれにせよ, 実際に火急の医療処置が必要となったその時点でその意思が変わっていないのかをどうやって確かめるのか, プロセスが軽視され, 書面を作成するなどの手続きだけが優先されないかなどの懸念はあり, 多くの課題と議論を抱えている状況でもある。

参考文献

1) 植村和正 アドバンス・ディレクティブとリビング・ウィル (総論) .日老医誌 2015 ; 52 : 207-210

【POLST】

英 POLST, Physician's Orders for Life Sustaining Treatment

和 ポルスト

「生命を脅かす疾患」に直面している患者の医療処置 (蘇生処置を含む) に関する意思による指示書¹⁾ (日本臨床倫理学会)。アドバンス・ディレクティブは本人からの指示 (意思) だが, POLSTはその意思を受けて, 医師が出す具体的な指示である。たとえば, 心肺停止の場合, すべての心肺蘇生術を実施してください 心肺蘇生術を実施しないでください という項目が設定されており, 実際の場面で担当する医師やメディカルスタッフがこの指示に基づいて医療行為を行うということが想定されている。患者の意思をより確実に実現しようとする試みのひとつではあるが, アドバンス・ディレクティブと同様, 実際に火急の医療処置が必要となった場面にこの指示が持ち込まれてもその時点で患者の意思が変わっていないのか確認できない, 指示書という書式を作成することに偏ってしまい, 話し合いのプロセスが軽視されるのではないかなどいくつかの課題はあり (たとえば, 日本集中治療医学会では「急性期領域で合意形成がなく, 十分な検証

を行わずに導入することに危惧があり，DNAR指示を日本版POLSTに準拠して行うことを推奨しない」¹⁾としている) 今後の議論，検討が期待されるところである。

参考文献

1) 日本臨床倫理学会 日本版POLST (DNAR指示を含む) 作成指針. 2015.

(国立病院機構まつもと医療センター 包括医療支援センター／相談支援センター ソーシャルワーカー(主任医療社会事業専門職) 植竹 日奈)

本誌251pに記載